



民法理由書

四

第一〇號

第十卷
第十號
第四

第一〇號

民法理由書

民事部編

（自第九十二條至第九十九條）

司法省 司 記 錄

司法省記錄文庫
第四百九十六號
三冊）內

第一號
第三架
第七

司法省
第七三號
寄贈圖書文庫

五
川
心
記

部

城氏立持物權之部之後

反談後起案者ト及議之上訂正
レタル所少カラズ
別ニ編纂案ニ提出ス



民法理由書

財産編

自刑ニ方九十九案

至刑ニ方十九案

抄寫

賦

卷之四

賦

賦

言

XB300
B 1
14 d

才二部
ノ松及ヒ香

總則

才二百九十二条
ノ松ハ物松ト相並シ財産

リ以テ人ノ資産ヲ組成スルモノナリ

物及ヒ人ノ松ノ性使ハ相並ナリセリニシテ

既ニ才ニ条及ヒ才ニ条ニ於テ之ヲ指示シタ

リ今其要ヲ再示センニ物松ハ人ヲシテ物ト

直接ノ関係ヲ有セシメ其目的タル物ノ^{効用}

及ヒ利益ノ全部又ハ一分ヲ收得セシメ且其

物ヲ不^充ハ所持スル者ニ對シテ之ヲ取戻ス

一ヲ得セシムルモノナリ是ヲ以テ物松即チ物

上松ノ稱アリ人松ハ之ニ異ナリ松利ヲ有ス

ル人ヲシテ其目的物ト直接ノ関係ヲ有セシ

ムルモノニ非ス。トテ唯義務ヲ負担スルモノ
ト直接ノ關係ヲ有セシムルモノナリ故ニ人
ト即チ對人ト云フアリ

物ト人ト云フノ性質ノ義是ハ單ニ論理的ノ
善美ニ非ス實際緊要ナル適用アリテ既ニ前
述ニ部ノ諸章ニ於テ物ト云フ亦人ト云フ
テ之ヲ示ス一ニ

人ト云フ性質ニ一様ナルハ既ニ論明ニタリト
雖モ尚ホ茲ニ之ヲ再陳セシ抑々人ト云フハ其性
質ニ一様ニシテモ上人ト云フ教養多クニシテ其發
生ノ時期、原因、目的等ヲ異ニスルモノアリト
云フ其歸義スル所ハ人ト云フ一種アルノニ又

其訓也

至テハ亦一様ナリ
電モ其高子流スル所ハ人ノ一様アリ

本架才一項ノ依ル人ノ一様ハ一、後ト物ニ

而シテ後トハ又ニ義務ト對老ニルモノトス

使ト義ムト相對老ニルハ題ツル密接ニシ

ラ且自然ノ理ニ基クモノナルカ故ニ歐洲諸

國ノ法典中人ノ規定スルニ義務ノ卷ニ於

テニルヲ以テ通例ト為ス、至リタリ故ニ本

法モ亦之ニ模倣ニ本部ニ於テ主トシテ義務

ノ事項ヲ以テ本部ノ主眼トシ其寫申効力及

ヒ縮減ヲ規定ニ以テ自カラ人ノ一様即チ後トノ

事ヲ規定ニタリ是故ニ本條ニハ人ノ一様ノ定義

ヲ示サズニテ之ニ對老ニル義務ノ定義ヲ下

ニタリ人ノ一様至テハ既ニ力ニ條ニ之ヲ掲

テ

其定義ニ依ルノ事務ハ法律ノ羈絆ニシテ

羈絆ニシテ法律ノ定法又ハ自然法

由來スルモノトス其人定法ニ由來スルモノ

然法ニ由來スルトシ從ヒ其制裁ヲ異ニスル

コトハ次第ニ揚クル所ナリ

之ヲ事務ノ効力ヲ説明セシメ事務ノ効力ハ

其目的ト混流スルモノニシテ或ル物ヲ專ク

或ル事ヲ為シ又ハ為サラシムルニ在リ

或ル物ヲ專フルトハ所有權又ハ其他ノ物權

ヲ移轉スルヲ得ル專フルノ義務ト実行ニ在リ

ル付與トハ之ヲ同一視ス可ラス蓋シ專フル

ノ義務ト存スルハ為シテ人ノ義務ト存スル

ニ山ニルト電毛突際長此ヲ為シ夕ルハ履長
ト周リテ系勢消滅シ物松之ニ縫襲スルモノ
ナリ付此ハ柯レノ時ハ在リ又何レノ方法ヲ
以テスハキヤハ後章ニ至リ詳カク現定スル
所アリ

或ル事ヲ為ストハ此フルノ外総テ手藝上又
ハ智能上ノ事業勳賞紹以旅行ヲ為シ或ハ使
用ノ為メ物ヲ引渡スカ如キ他人ノ利益ナル
所為ヲ行フヲ謂フ

或ル事ヲ為サハルトハ後々者ノ原来自己ノ
財貨又ハ他人ノ財貨上行フエトヲ得ハキ正
者ナル所為ナリモ後々者ノ利益ノ為メ之ヲ
行ハサルヲ謂フ例ハ自己ノ家私ヲ賃貸シ

一ハ其所有者自己ノ地内ニ於テ銃獵セサル
 一ツ又ハ相隣地ニ於テ樹木ヲ斫伐セ
 サルヘシト約シタルトモ亦為サ、ルノ事
 務アル場合ナリ又普通法ニ於テハ特別ノ合意
 ヲ以テ認許シ三三ノ所為ヲ他人ノ財産上特
 二行ハサルヘキノ事ニテ負フ場合アリ例、
 ハ金貨貸付者力債ム者ノ俸給ノ如キ特殊ノ
 財産ヲ差押ヘサルヘキトテ約シタル場合又
 ハ所有者力隣地ヨリ分界線上ニ侵入スル樹
 木ヲ或ハ期間截伐セサルト或ハ自己ニ屬ス
 ル地役ヲ使用セサルトテ約シタル場合ノ如
 キ是ナリ斯ノ如キ場合ニ於テ所有者一時其

私利ヲ抛棄スルモ敢テ之ヲ以テ法律上又ハ
人為上地役ヲ消滅シタリト看做ス_ト得ス
此抛棄ハ即チ為サ、ル_ル承ム即チ對人的ノ承
ムノ要役地ノ讓受人ヲシテ豫メ之ヲ知ラシ
メ_ハタ_ハトキ_ハ免サシム_ハ之_ハ對シテ効力ナクモ
又承役地ノ讓受人モ明示又ハ默示ニテ是後
私ヲ得タルトキモ免サシム其利益ヲ享クハ
コト能ハサルナリ

才二百九十回条 人私ハ其地質一様ナリト謂

フト免テ敢テ之カ為メ其制裁力ノ程度ヲ全
ルマテ之ヲ同フスト謂フヘカラヌ蓋シ其制
裁力ハ之_ハ對モスル承ムノ人定法上ノモノ

裁力ハ之_ハ對モスル承ムノ人定法上ノモノ

裁カハ之リ討モスル事ムノ人定法上ノモノ
差異ヲ設ケル外ルモノナリ且チ制裁力今最モ

強キ義ムハ債ム者任意ニ之ヲ履行セサルト

キ債ム者ヲシテ法律ニ認可スル諸般ノ方法

ヲ用ヒ以テ強判執行ヲ為スヲ得ヘキノ許可

ヲ支判所ニ訴求スルヲ得セシムルモノナリ

欧州諸國ノ法律ハ羅馬法ニ倣ヒテ事ムヲ行

ヒテ法定ノ事ムト曰ヘリ本法モ亦其旨ヲ承

ムト是ナルコトヲ明ナラシメンカ為メ之ヲ

人定法ノ事ムト名ケタリ蓋シ國法ヲ以テ

規定シ且制裁ヲ付シタル事ムノ謂チリ自然

ノ事ムニ至テハ其制裁不完全ニテ強制執行

ヲ為スコトヲ得^具之唯債ム者ノ良心節操ニ委

シ之ヲシテ任意ニ履行ヲ為サシムルノハ

自他系へアル場合ヲ指定スル人甚々困難
シテ外國ノ法律ハ之ヲ制定セズシテ學說及
ヒ判決ニ放任シタリ是ヲ以テ學說及ヒ判決
中大ニ異律ヲ生シタリ而シテ羅馬法ノ如キ
モ此点ニ付テハ僅カシ其一部分ノシテ論據
タルヲ得ルニ過キス蓋シ時代ヲ經ルニ從ヒ
漸ク社会及ヒ親族ノ組織大ニ變更スルノ致
ス所ナリ本法ハ自然ノ系々ノ場合ヲ制定シ
以テ此ノ如キ困難ヲ豫防シタリ然レ氏此場
合法定ノ系々ヲ規定シタル後ニ於テハ理
會ニ難キカ故ニ本部ノ末章ニ於テ別ニ之ヲ
規定シタリ

規定 (シタリ)

物に於て同一ノ組織法を以てする事

承取ノ原因即チ承ムル其設定ノ方法チ二

一其効力チ二一其消滅ノ事ヲ規定シタリ

本部、規定スル所ノモノハ一般ノ承ムル

テ固有ノ原因、効力及ヒ消滅ヲ有スル承ムル

至テハ之ヲ次編及ヒ担保偏^{担保}ト掲ク例ハ八章

定^定債^債貸^貸借^借令^令社^社代^代理^理債^債借^借等^等ハ数^数多^多ノ点^点ヲ付^付キ

大ニ性質及ヒ効力ヲ異ニスル特別ノ契約ナ

レトモ其特別ナル所ハ此レ之ヲ掲ケス然レ

モ亦一般ノ契約ト共通ナル数多ノ性質ヲ有

スルモノトシテ之ヨリ生スル承ムルハ本部

掲クル所ノ規則ヲ以テ其通則ト為ス

第一章 承ムル原因

徳島

才二万五千条

凡ノ法定ノ事字ハ次ノ二編

ト於テ特ニ規則ヲ設ケタルモノト雖モ於土

必ス本条ト列記スル四箇ノ原因ノ一ト出ツ

ルモノナリ自然事ムト至テモ亦未ダ示ス

カ如ク法定事ムト固有ナル才四ノ原因ヲ除

キ法定事ムノ原因ト同一ノ原因ト出ツルモ

ノナリ但自然事ムノ原因ハ其効力較ニ薄弱

ナルノ

本条ト掲クル所ノ事ムノ才二及ヒ才三ノ至

原因ハ欧州諸王ノ法律ト於ケルト其名称ヲ異

トス蓋シ欧州ノ諸法律ト用ヒタル名称ハ古

来因襲ノ事トシテ變ハルル事トスルハ其

ス蓋シ歐洲ノ諸法典ニ用ヒタル名歟ハ古
キ母ルモノナレハ本該之ニ據依ス可カラザ
ルカ故ナリ

或ハ裁判云云ヲ以テ争ムノ原因ト為サ、ル
ヲ訝ハ者アラシ、更ハ一ノ確定裁判ヲ以テ派
訟人ノ一方ト他ノ一方ノ為メ或ハ物ヲ與、
或ハ事ヲ為シ又ハ為サ、ル一キ下ヲ云云
中ハ其基因スル淵源如何ヲ問ハス其判決ハ
更ハ争ムノ一新原因タルカ如シ且實際争ム
ノ執行ハ合式ノ告知アリタル裁判云云ニ據
リ要求スルモノナルカ故、愈ハ此点ニ付キ
疑義ヲ生スルコトアラシ然レ氏是レ單一
ノ迷誤タルノ蓋シ也判云云ハ更ハ私利ノ
創設スルモノニアラスレテ既存ノ私利ヲ認

定スルニ過キ又若シ夫レ訴訟人ノ一方承ム
ルルノ云云云云ヲ受ケタルトキハ其人タレ前シ
掲ケタルル曰云ノ原因ノ一ト周リ膏テ已レ承
ムヲ負担スルカ故レシテ裁判云云ハ受モ既
存ノ承ムト加フル所アルニアラズ彼ノ裁判
是用ヲ負担スヘキノ承ムト至ラズ亦裁判云
云ト云フ一原因ト出フルモノナリ詳云スレ
ハ敗訴者ノ過失即チ非理ナル訟亦又ハ辯度
ヲ為シタルノ過失ト原因スルモノナリ又執
行シホムハハ裁判云云ト云ハト云モ是レ未
タ電モ亦判云云ト云テ承ムノ原因ト為スレ
是ラサレモトナリ蓋シ亦判云云ハ裁判ノ証

訴訟ノ原因ト云云ト云ハト云モ是レ未
タ電モ亦判云云ト云テ承ムノ原因ト為スレ
是ラサレモトナリ蓋シ亦判云云ハ裁判ノ証

是ラサレモナリ蓋ニ裁判ニ依ルハ裁判ノ心
法付上ノ指定ノ一種ニ外ナラズ此ヲ恰ク
前判決ノ憑拠タル半面又ハ人面ノ事ハ生
ヤサレカ如ク其至因タルモノアラサレナ
リ

第一節 合意

第二面九十六條

合意及上契約ノ二字ハ習慣上又法付上動
スレハ文レ之ヲ通用ストモ亦其固有ノ意
ヲ示シス人其意義至廣ク契約ハ又合意
ナリトモ合意ハ主ク又スレモ契約トモ
本条ニ依テ比照スレハ此ニ至ル裁判力
ノ義莫自カラハナリ

本節ハ才一令意ノ種妻才ニ其成立又上有効
ノ事候才ニ也才生間五ノ才ニ者一才ニ其
効力才四其辭秋ノ規見ヲ逐次ノ掲裁スルモ
ノナリ

才一款 令意ノ種妻

本款ハ令意ノ種妻ヲ列舉スル長王致ノ令
意ト七至ノ妻心アルト成之唯此ノ令意ヲ種
カノ意ト付申觀察ヲ才ニ其種様ヲ指示スル
モノナリ

勿論各種別中其ノ支派ノ成スル令意ハ他ノ
支派ト成セストモ才一種妻ト成セズトモ
才ニルモ才ハ亦才ニ以下ノ種妻トモ成スル

ト云ルルモノハ、亦予之以下ノ種妻トモ、予ノ
別ノ種ノ種一ノ物ヲ種トスルノ事ニ、種ノ種トシ
タルト一般ナリ

今意ノ種トハ、各ノ市要ナル結果アルモノト
シテ、其結果タル後ト至リ、詳細ト規定スル所
アリト云、モ、本款各条ノ下、亦其要領ヲ指示ス
ル

第二十九條

本条ノ已分ハ、定座ノ適用上煩ワル緊要ナル
ヲ以テ、今意ノ種妻中予一位ヲ在ムルモノナ

リ
愛宕交換、貸借令社ハ、双務合意トシテ、是前
貸借令社、今意ナリ

今意ヲ双務ト民務トト、区分スルノ利益ニ至

アリ即チ双務合意ニ於テハ老練者ノ一方其
事ムヲ履行セサル中ハ他ノ一方合意ノ解除
ヲ請求シ自己ノ承諾ヲ受カルニキル黙示条
件存スルモノト看做ス因ヨリ解除ヲ請求ス
ルハ一ノ不能ト過キヌ故ニ此不能ヲ拋棄シ
テ合意ノ履行ヲホムルヲ得ヘシト云々解
除ヲホムルハ却テ利益ヲ保全スルニ確然
當ナリ加之解除ヲホムルモ別ニ損害賠償ヲ
ホムルノ妨トナルモノゾアラズ故ニ解除ノ
利益ハ頗フル大ナルモノナリ

片務合意ニ至テハ解除ノ問題起ルニキ理ナ
シ蓋シ承諾ヲ負ヒタル一方カ任意ニテ合意

履行セサル中ハ他ノ一方ハ解除ヲ為スル事

之蓋し承務ヲ負ヒタル一方カ任意ニテ合意
ラハ損失ヲ被ルルハニテモ其利便ヲ行ハ
ハス故ニ他ノ一方ハ侵略者ノ財産上強制執
行ノ方法ヲ行フノ外アラサルナリ

是等ノ事ハ異ハ事物自然ノ理ニ基クモノニ

シテ本論ヲ二而四十一條ニ之ヲ規定スルナリ

亦二ノ義矣モ亦一ノ義矣ト同シク而モナ

ルモノナレリモ之ニ比スレハ實際ノ必要較

シ女キカ如シ故ニ外國ノ法典中ハ義矣ノ存

ヤサルモノアリトモ其之ヲ設ケサリシハ

欠典ナリト謂ハサル可カラズ是亦二ノ義矣

如何トハク双帶合意ヲ証明スル 証書私署証

書ナル中ハ利益ヲ異ニスル電事者ノ員數ニ

從ヒ教通ヲ作ラサル可カラズ是レ 証據揃

規定ニル所ナリ今唯其理由ヲ疏明セシモ
事者ハ各時宜ク依リテ判断スル所ナリ
利ヲ主張スルカ為メ其心探ラ所持ス
モ且有益ナリトス否スシテ一通ノ
ル止コルトキハ之ヲ所持スルモ事者若シ
其心意ヲ為シタルコトヲ悔ユル中ハ怒マ
之ヲ毀滅シ以テ澄リシ一物ノ解除ヲ為ス
得ルニ至ル可ク而シテ其解除ハ其多事者ノ
匿約ノ責得トナラスモ却テ其褒賞トナル
ニ至ルヘシ

才二百九十八条

有價分意ハ双務合意ト混同セサルヲ要ス蓋

有債公意、双務公意ト混同セサルヲ要ス蓋
ルカ故、必、之有債タル一キヤ疑ナク、
有債公意ト至テハ未タ必シモ双務ナリト謂
フ可カラズ例、ハ利息付貸借ノ如キハ有債
ナリト雖、モ義務ヲ負フ者ハ獨リ借主ノ即
チ借主ハ元本ヲ返還シ且之、利息ヲ附加ス
ルノ義務アリ貸主モ亦一時元本ヲ失フカ故
ニ一ノ負担ヲ受ケ一ノ出捐ヲ為ス者ナリ然
レモ是レ一ノ義務ト非ス何トナシハ貸主ハ
貸付前、未タ賈テ何等ノ義務ヲモ負ハズ又
貸幣ヲ引渡シタル後ニ至ルモ何等ノ義務ヲ
モ負ハサレハナリ是レ利息付貸借貸付物交
付ニ依ルニ非サレハ組成セサル所以ナリ此
点ニ付テハ次第ノ區別ニ関シ更ニ説明スル

所アル可シ

利息付貸借其他總テ有債双務ノ合意ノ外尚

モ目的又ハ其他ノ元素ヲ變シテ其務ノ更改ヲ

為ス合意モ亦有債合意ナリト又蓋シ更改合

意ニ於テハ債權者其迄前ノ權利ヲ拋棄シ債

務者一ノ新債務ヲ契約シ以テ舊事務者各出捐

ヲ為スモノナリ(才四頁八十九條以下參看)

本条ニ下タルシタル無債合意ノ定義ハ其無

債ノ性質即チ舊事務者ノ一方之ニ因リ何等

ノモノヲモ此ツルノ無ク受取ルルヲ得ルコト

ヲ明示スルモノナリ

又本条ハ才三者ノ為メ出捐ヲ為スルヲ得ル

又存案ハ才三者ノ為メ出指ヲ為ス一ヲ得ル
要然スルハ或ハ區別ニ依ヒ存案ナリ云々

二十三年 然レモ才三者ニ其ツルノ身務ヲ
負ヒテ受取ル者ハ有債ニテ受取ルモノナリ
無債合意タルモノ才一ヲ贈與トス次ハ無利
息費消貸借及ヒ使用貸借ニシテ借主ハ純然
タル無債ノ利益ヲ受クルモノナリ寄託及ヒ
代理ニモ亦寄託人及ヒ代理人ノモ役務ヲ竭
クスヲ以テ無債合意ナリトス
保証ト至テハ保証人ト債権者トノ間トハ有
債ナルモ保証人ハ債務者ノ為メ之ト共ニ身
務ヲ負担スルカ故ニ債人者ノ為メトハ無債
ナリトス

合意ヲ有債ト無債トニ區別スルハ前案ノ区

別ト同ク堅要ナルモノナリ即チ才一無債合
意ト於テハ有債合意ト於ケルヨリ老事者ノ
能力更ニ大ナルヲ要ス例ハ他人ノ財産又
ハ自己ノ財産ヲ管理スル権ヲ有スルニ過キ
サル者ハ或ル有債合意ヲ為スルヲ得ルトモ
モ^未是等ノ財産ニ付キ無債合意ヲ為シ補債ナ
クシテ是等ノ財産ヲ減少スルルヲ得ス又負
担物ノ保存ニ注意スルノ義務モ^{債主}賣主ト比ス
ハ贈與者ノ負フ所較シ寛ナリ才三百三十
四條次々無償力者ノ債権者ハ其債務者ノ為
シタル無償合意ヲ廢罷セシムルハ其有債合
意ヲ廢罷セシムルト比シ一屬容易ナリトス

意ヲ廢罷也
所ノ願也
禁ナル人ノ騙取及ヒ自己ノ誘惑ノ為メ損害

ニ罹ル
免カレ
コトヲ目的トス

牙二百九十九条

承諾ハ次款ニ於テ細説スル如ク合意ノ要素
ナリ詳言スレハ承諾ハ合意成立ノ缺ク可カ
ラサルモノナリ然レ氏亦凡ソ合意成立ノ為
メニハ承諾ノミヲ以テ足レリトシ殊ニ近世
特^別必要ナルニ非サレハ權利行為ニ付キ法
式ヲ要セサル時代ニ至リテハ
ヨ以テ足レリトス諾成合意ハ即チ單々承諾
ノミヲ以テ成立シ目的ノ引渡ヲ要セサルモ
ノヲ謂フ壹買交換債權會社代理保函等ハ

純然タル儀成合意ナリ贈與ノ若キモ次序ハ
説明スルカ如ク要式合意ナリト爲モ亦本案
區別ノ点ニ付テ觀シハ儀成合意タルモノナ
リ

合意成立時又以前

要物合意ハ其目的物ヲ引渡スニテラサレハ
成立セサルモノナリ使用及ヒ消費貸借寄托
及ヒ勅産預是ナリ

右ノ合意ノ成立ト引渡ヲ要スルハ決シテ立
法者ノ專權ニ出テタルモノニ非ズ事物自然
ノ理ニ出ツルモノニシテ諸國ノ法律中多ク
ハ既に此規定アリ又之ヲ法律ト明記セサル
邦國ニ於テハ實際之ヲ以テ慣例トシタリ

民法 古物 贈與 合意 成立 時 又 以前

邦國之於テハ實德之ヲ以テ慣例トシタリ
 存ニ注意スルノ義務ヲ負ハシムルヲ以テ本
 來ノ目的トスルモノナリ然レモ既ニ受取リ
 タルモノノ非サレハ之ヲ保存シ且返還スル
 ノ義務アルハカラズ但動産ノ至テハ物ノ
 引渡ナキモ成立スルヲ得ヘク物ヲ抵免不勤
 産ヲ依然債權者ノ占有ト付スルカ如ク債權
 者ヲ以テ依然動産ヲ占有セシメ以テ之ヲ債
 權ノ担保ト免ツルモ敢テ道理ヲ及スル所ナ
 ラサル可シ然レ氏斯クノ如クハ羅馬法ニ
 認メタルカ如キ真ノ抵免即チ動産抵免ナ
 一トモ非ズ此抵免ハ弊害アルカ為人近代
 ノ法律ハ之ヲ認許セサルに至リ本邦ニ於テ

モ亦之ヲ認受セサルヲ可ナリトス是ヲ及テ
動産使ハ物ノ交付アリテ債権者之ヲ占有セ
サレ以上ハ有効ヲラサルモノトス

要物契約ハ其數前他曰云々限ルモノニシテ
合意又ハ取估ノ時ニ於ラ必ズ物ノ引渡ヲ為

又ハキコトハ前已之ヲ述ハタリ蓋シ他ノ
他ノ 物ヲ占有シ而シテ其債権者更ニ使用使

借寄託又ハ動産使ノ名義ヲテ其物ヲ占有ス
ハキノ合意アル中ハ合意前ニ引渡アルモノ

ナリ又最初ノ要物合意例ハ寄託ニ因リ債
権者既ニ其物ヲ占有シタルニ在リ更ニ之ヲ

借寄託ノ名義ヲテ其物ヲ占有シタルニ在リ更ニ之ヲ

物者既其物ヲ占有シタルニ
 因リ既ニ占有シタル物ヲ其終
 止ノ場合ニ於テハ債權者ハ一
 且前名義ノ因リ物ヲ返還シ
 更ニ後ノ名義ノ
 因リ直ニ之ヲ受取タリト者
 做サル、モノナ
 ナリ所得簡易ノ引込迄ナリ
 一才百九十一
 年冬
 者

此ノ場合ニ於テハ金意ノ者
 時物ノ引込ヲ
 為スモノトス

金意ヲ欲成ト要物トシ已
 分ニ其利益
 ハ前段ニ從テ所ニ由テ見
 シハ明カナリ即チ
 此區別ノ実益ハ契約ノ成
 否何レノ時ニ在ル
 カ入占ム隔着ニルモノナ
 リ又或ハ物ヲ盛ル

し又ハ動産債ト供スヘキコトヲ約束シタル
ノコトニテ未タ其物ノ引渡ヲ為サ、ルコトア
ル一シ此約束ハ未タ貸借契約ト又ハ動産契約
トアラズシテ後条ト所謂無名合意ノ一タル
ヘシ而シテ貸借ノ約束ノシアリタルトキハ
貸借合意アリタルトキト異ナリ債ハ若クハ
モノハ将来ノ債之目トシテ債権者タルモノ
ハ将来ノ債主ナリ又主タル債権既ト生シタ
ル後動産債ノ約束ナルト違キサルトキハ債
権者動産債ヲ供スルノ義務ヲ負フ可シト云
モ既ニ動産債ヲ供シタリトキハ却テ返還
ヲ求ムルノ権利ヲ有スルモノタルヘシ又寄

債権者ノ動産債ノ約束ハ将来ノ債トシテ債権者タルモノハ将来ノ債主ナリ又主タル債権既ト生シタル後動産債ノ約束ナルト違キサルトキハ債権者動産債ヲ供スルノ義務ヲ負フ可シト云モ既ニ動産債ヲ供シタリトキハ却テ返還ヲ求ムルノ権利ヲ有スルモノタルヘシ又寄

言
議
債
権

ヲホムルノ機刺ヲ有スルモノタルハ又寄
 者君ノ入多シクシテ其ノ在ルニ至リ
 二ルノ義路ヲ履ハサルナリ

月
 去
 首

言
法
卷

六
五
一
七
二
三
四
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十

七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十

七四十一九
六七七七

レ方式ヲ要スルハ己ニ例
書式ヲアラスレテ公吏ノ

干渉ヲ必ズ之ニ及ブ即チ法公吏ハ公事者ノ
陳述ヲ聽キタル後特別規則ニ從ヒ詔書ヲ作
リ之ヲ公事者ニ讀聽カセ且ツ之ヲ讀聽カセ
タル旨ヲ記載シ公事者ヲシテ之ニ署名セ
シメ又其署名スル能ハサルトキハ其原因ヲ
記載シテ自己モ亦之ニ署名スルモノトス
奉法トハ要式合意多カラシ唯夫婦財産契約
及ヒ贈與アルノレ^レ財産取得編ヲ三百四十九
条及四百二十二条並リ而シテ合意成立ノ
為メ方式ヲ要スル場合ト其證據ノ為メ之ヲ

Handwritten text on a vertical slip of paper at the top right, possibly a title or reference.

三五百卷

近き、至る、今意、方式ヲ要スルハ己ノ例
外ニシテ其方式ハ書式トアリ又シテ公吏ノ
干渉ヲ必ク之ニ免ク即チ汝公吏ハ名事者ノ
陳述ヲ聽キタル後特別規則ニ從ヒ詔書ヲ作
リ之ヲ名事者ニ讀聽カセ且ク之ヲ讀聽カセ
タル旨ヲ記載シ名事者ヲシテ之ヲ署名セ
シメ又其署名スル紙ハサルトキハ其原因ヲ
記載シテ自己モ亦之ニ署名スルモノトス
本法ノハ要式合意多カラシ唯夫婦財産契約
及ヒ贈與アルノハ財産取得編アリ百四十九
条及百四十二条出リ而シテ今意成立ノ
為メ方式ヲ要スル場合ト其證據ノ為メ之ヲ

要スル場合トハ之ヲ混合ス可カラシ又、
為メ方式ヲ要ス場合トテハ相争方ノ自白
ヲ以テ要ス。而シテ神交スルモノナリ
合意ヲ要ス。ト不要トトハ區別スルノ利益ハ
其定義自白ト就テ觀シハ自カラシ明瞭ナルカ
故ニ敢テ贅説セズ

才三百一第

本条ト提クルハ區別ハ外國法律ト所謂互易契
約及ヒ射倖契約ノ區別ト當ルモノナリ唯本
法ハ互易ノ名稱トヤフルハ、**実定**ノ名稱ヲ以
テシタリ蓋シ**実定**ナル語ハ鞏固**硬堅**ノ謂ハ
シテ**晚**軟不確定ニシテ偶然ノ運轉ト委スル

レテ晚^晩軟^軟不^不確^確定^定ニ^ニシ^シテ^テ偶^偶然^然ノ^ノ運^運賦^賦ニ^ニ委^委ス^スル^ル

今^今意^意ニ^ニ至^至テ^テハ^ハ老^老者^者任^任意^意ニ^ニテ^テ射^射倖^倖ノ^ノ性^性質^質ヲ^ヲ

付^付ス^スル^ルト^ト此^此サ^サレ^レハ^ハ射^射倖^倖ヲ^ヲラ^ラス

此^此項^項上^上射^射倖^倖合^合意^意タル^ルモ^モノ^ノ才^才一^一ヲ^ヲ博^博奕^奕賭^賭事^事ト

為^為ス^ス然^然レ^レモ^モ法^法律^律ノ^ノ於^於テ^テ夫^夫等^等ノ^ノ合^合意^意ヲ^ヲ認^認許^許

ス^スル^ルハ^ハ例^例外^外ニ^ニシ^シテ^テ其^其場^場合^合甚^甚タ^タ女^女シ^シ才^才ニ^ニテ^テ終^終

身^身年^年金^金合^合意^意ト^トシ^シ才^才云^云ヲ^ヲ終^終身^身用^用益^益掩^掩没^没定^定ノ^ノ合^合

意^意ト^トシ^シ才^才四^四ヲ^ヲ冒^冒険^険貸^貸借^借ト^ト稱^稱ス^スル^ル海^海上^上ノ^ノ貸^貸借^借

ト^トシ^シ才^才五^五ヲ^ヲ陸^陸上^上又^又ハ^ハ海^海上^上保^保險^險合^合意^意ト^トス^ス保^保險^險

合^合意^意ハ^ハ近^近者^者ト^ト至^至リ^リ數^數多^多ノ^ノ適^適用^用アリ^リテ^テ益^益々^々増^増

加^加ス^スル^ルノ^ノ傾^傾向^向アリ^リ

此^此他^他ノ^ノ合^合約^約ハ^ハ性^性質^質上^上異^異定^定ナ^ナリ^リト^ト雖^雖モ^モ老^老者^者

其^其成^成立^立又^又ハ^ハ其^其効^効力^力ノ^ノ全^全部^部若^若ク^クハ^ハ一^一部^部ヲ^ヲシ^シテ

偶然ノ事ニ擊ラシム以テ之ニ射障ノ性質ヲ
付スル一ヲ得故ニ一ノ合意又ハ之ヨリ生ス
ル義務ヲ付スルニ停止若クハ解除ノ条件ヲ
以テスル中ハ其合意ハ毎子ニ射障ノ性質ヲ
帶フルモノナリ是レ其条件偶生ナルトキ即
チ意外ノ事ニ係ルトキノコナラズ債務者ノ
為メ亦莫ク偶然ノ運賦事タル債權者ノ意思ニ
係ル中トモ亦然リトス例ハ老事者ノ一
方又ハ双方ヲシテ手附ヲ損失シ又ハ其ニ陪
ヲ返還シ以テ合意ヲ取消ス一ヲ得セシムル
所ノ手附付ノ合意ノ如キモ亦射障ノ性質ヲ
有スルモノナリ試験ニテ為ス賣買即チ物ヲ

有スルモノナリ試験ニテ為ス責買即チ物ヲ

サレハ概子射倅ノ名稱ヲ付セサル可也

此區別ノ実益ハ他ノ區別ニ於ケルカ如ク著

シカラヌ學者モ區別ノ利益ナリト稱スルモ

ノ通例一アルノミ即チ射倅ノ合意ハ缺損ノ

為メ実定ノ合意ヲ銷除スルヲ得一キ場合ニ

於テモ猶モ之ヲ銷除スルヲ得サルコト是ナ

リ然レ氏本法ニ於テハ分割ノ場合ノ外缺損

ヲ以テ銷除ノ原因ト為サ、ルカ故ニ射倅合

意ニ於テ之ヲ銷除ノ原因ト為サ、ルモ以テ

彼我ノ間ニ存スル差矣ナリト謂フ能ハス

然レ氏尚モ他ノ較ニ重要ナル差別ノ存スル

アリ即チ老事者一方ノ条件不履行ノ為メ終

身年金合意ヲ解除スルモ実定合意ノ解除ニ
於ケルト異ナリ全ク取替テテ合意以前
ノ位置ヲ復セシメサルコト是ナリ蓋シ双務
ニ埒キタル者ノ對手ハ既ニ不利ナル運賦ヲ
受ケ来リタルモノナレハ其補償トシテ之ニ
其受取リタル年金ノ金額ヲ此ノ絶令法律上
又ハ通常合意上ノ利息ノ割合ト規定スル所
ヲ受取リタルコトアルモノ之ヲ返還セシムヘ
カラス

才云百二条

本条ト掲クル所ノ區別ハ才十五条ト於テ物
ヲ主タルモノト從タルモノトニ分チタルト

合意中世債上必ス主タルモノト分チタルト
 タルモノアリ然レモ必ス主タリ從タル合
 意ハ其數極メテ寡シ蓋シ合意ノ過半ハ事
 者ノ明示若クハ默示ノ意思ニ隨ヒ或ハ主タ
 リ或ハ從タルモノナリ担保ノ合意タル保証
 動産債抵及ノ如キ必ス從タルモノナリ(卷第
 才ニ在)

然レ氏賣買債償借會社債借等ニ至テハ主タ
 ル合意タルコト多シト雖モ亦從タルモノタ
 ルコトアリ例ハ一定ノ代價ニテ一ノ家屋
 ヲ賣リ又別ニ代價ヲ定メテ附屬ノ動産ヲ賣
 リタル中ハ動産ノ賣買ハ家屋ノ賣買ノ從タ
 ルモノナリ而シテ其結果ハ本条ニ指示スル

カ如ク全意ノ瑕疵ニ因リ家屋ノ賣買有効ナ
ラサル中ハ動産賣買モ亦縱令其自體ニ於テ
有効ナルモ共ニ無効ニ帰スルニ在リ債貸借
モ亦賣買ノ從タルトアリ例ハ賣渡ニタル
家屋ニ接着スル土地又ハ一時買主ニ必要ナ
ル農工ノ審具ヲ債貸スルトキノ如キ是ナリ
又費消債借ヲ債貸借ノ從トスルトアリ例ハ
ハ小作人ヲシテ債借地ノ耕耘ニ着手セシム
ル為メ之ニ元本ヲ償還スルトキノ如シ
全意ノ主タルモノナルカ將タ他人全意ノ從
タルモノトシテカヲ判定スルハ事實ノ可題ニ
シテ裁判所ノ宜ク情ヲ審察セ以テ裁定ス可

二箇ノ全意中

全意ノ主

タルモノ

ナルカ

將タ

他人

全意ノ從

從

裁判所ノ宜ク情ヲ審察セ以テ裁定ス可

して裁判所ノ宜ク情ヲ審察し以テ裁定ス可
 別ヲ説クノ煩ヲ省クカ為メ其ノ
 ヲ從カサシ若シ二箇ノ合意孰シカ主タル後
 タルヲ査定スルニ當リ二者共ニ同一日附
 ヲ有スルハ事重ク價多キモノヲ以テ主タ
 ル合意ト見做ス一キヤ勿論ナリ又其日附ヲ
 異ニスルハ日附ノ前ナルモノヲ以テ主タ
 ル合意ト做ス一ニ蓋シ合意確然成ラズル
 後之ヲ以テ日後ノ合意ノ從タルモノト為ス
 ハ理ノ容レサル所ニシテ当事者ハ明カシ前
 ノ合意ヲ以テ後ノ合意ノ從ト為スノ意思ヲ
 顯表シタルトキハ此結果ヲ生ス一
 カラス而シテ当事者此意思ヲ明示スルハ於

テハ一ノ更改ヲ為スモノナリ

合意ヲ主タルモノトモノト區別スルノ

実益ハ一ノ合意ノ無効ナルトキ他ノ合意無

効タルヤ否ヤノ点ニ在リ本条ハ此点ニ付キ

二箇ノ規則ヲ設ケ又各別ニ例外ヲ設ケタリ

才一ノ半章規則ハ主タル合意ノ無効ハ從タ

ル合意ノ無効ヲ惹起スルニ在リ其例外則ハ

從タル合意担保ノ合意タルトキニ行ハルハ

モノニテテ所謂担保ノ合意ハ主タル合意無

効トナルトキ之ヲ代ハルカ為メニ取結ビタ

ルモノナルカ故ニ主タル合意無効ノ為メ共

ニ無効ヲラサルナリ例ハ本条年者ヲ保証

二無効ヲ云フサレハナリ例ハ八未成年者ヲ保
セシムルモ保人ノ依止正業ニ在リテハ保人
賣主カ買主ノ追奪ヲ受クルコトアテハ賠償

ノ義務ヲ任スヘキコトヲ明約セタル場合
於テ(定シ合意ナクシテ)負担スル所ノ法律上
ノ担保義務ニ對シテ事實上ノ担保ト稱スル
所ノモノナリ買主追奪ヲ受クル中ハ賣買無
効トナル一ニ蓋シ他人ノ物ノ賣買ハ無効ト
シハナリ然レモ担保ノ事ハ尚ホ存立スヘ
シ何トナレハ以テ買主ハ賣買ノ無効ヲ補フテ
目的トスルハナリ
純理上之ヲ觀シハ右二箇ノ担保合意ハ從テ
ル合意ト謂ハスシテ條件付ノ主タル合意ト
謂フヲ得ヘキモノナリ然レモ本法實際ノ稱

呼ヲ用ヒ之ヲ從タル合意ト稱シ而シテ之カ
為メニ一ノ例外則テ後ケタリ

才ニノ規則ハ從タル合意ノ無効ハ主タル合
意ヲシテ無効ナラシメサルニ在リ其例外則

ハ二箇ノ契約ノ關係甚ク緻密ニシテ者事者

ノ意思上之ヲ分ツ可カラサル場合ニ行ハル

、モノナリ例、ハ土地ノ賣主其賣買ノ附從

トシテ賣主ノ企テントスル農工業ニ必要ナ

ル水ヲ接^地述^也ル地内ニ於テ汲取スルキ槓ヲ

之ヲ讓與スルキエトヲ稱シタルニ賣主其水

源ノ所有者ナラサルカ為メ地役ノ設定無効

トナレトキハ去地ノ賣買モ亦其無効トナ

才五百三卷

前方業ノ込分ニ例示シタル合意ハ概子
有名合意ナリ故、特ニ其目的ヲ指示セサル
モ能ク之ヲ識別スルヲ得、即チ賣買債
借貸借等ハ其稱呼ヲ言ハハ一々其定義ヲ下
シ其目的ヲ示サ、ルモ其何者タルヲ知ルヲ
得ハ

之ヲ及シテ更改ノ若キハ一々其目的及ヒ其
世値ヲ示サ、ル可カラズ蓋シ此合意ニハ更
改ノ名稱アリ且法律上之カ為メ特ニ規定ス
ル所アリト虽モ實際未タ之ヲ以テ一ノ有名
合意ト看做シタルモノアラズ加之更改ハ法

律上新芽務ノ原因即チ一ノ合意ト看做スト
謂ハシ且リ旧芽務ノ消滅原因ト看做スモノ
ナリト謂フハシ

尚ト無名合意タルモノ二三ヲ例示セシト作
為ノ交換、貸借、動産後又ハ抵当ノ豫約及ヒ寄
託ヲ受クル約束ノ如キ即チ然ラズ

本条ハ此種類ノ各支派ト通用ス可キ規則ヲ
指示セリ即チ有名合意ニハ法律ニ固有ノ規
則アルヲハ毎子ト之ヲ適用シ特別ノ規定アラ

サルトキハ合意ノ普通法即チ本部ノ規則ヲ
以テ其通例ト為シ尚ト例外則レシテ有名合
意中最モ之ト類似スルモノニ特別ナル規則

意中最モ之ト類似スルヤヲ考フルニモリテハ文辞
ト最モ類似スルヤヲ考フルニモリテハ文辞
ニ拘泥セズニテ事物ヲ觀察スルヲ要ス故ニ
作為ノ交換ハ所有権ノ交換ニ比ス一カラス
シテ雇傭契約ニ比ス一ニ又使用若クハ費消
貸借ノ豫約又ハ動産債ノ豫約ニ至テ貸借又
ハ動産債ニ比ス一カラス既ニ才三而二十生
ノ後明中此場合ニ於テハ名事者ノ位置全ク
相及スルヲ述ベタリ寄託ヲ受クルノ約束
ニ付テモ亦然リ故ニ此場合ニ於テハ或ル事
ヲ為スノ無名合意アルニ過キズニテ一ニ本
部ニ掲クル所ノ一般ノ合意ノ規則ニ從フ可
キモノナリ

意中最モ之ト類似スルヤヲ考フルニモリテハ文辞
ト最モ類似スルヤヲ考フルニモリテハ文辞
ニ拘泥セズニテ事物ヲ觀察スルヲ要ス故ニ
作為ノ交換ハ所有権ノ交換ニ比ス一カラス
シテ雇傭契約ニ比ス一ニ又使用若クハ費消
貸借ノ豫約又ハ動産債ノ豫約ニ至テ貸借又
ハ動産債ニ比ス一カラス既ニ才三而二十生
ノ後明中此場合ニ於テハ名事者ノ位置全ク
相及スルヲ述ベタリ寄託ヲ受クルノ約束
ニ付テモ亦然リ故ニ此場合ニ於テハ或ル事
ヲ為スノ無名合意アルニ過キズニテ一ニ本
部ニ掲クル所ノ一般ノ合意ノ規則ニ從フ可
キモノナリ

Handwritten text in vertical columns, likely a transcription of a classical Chinese text. The characters are faint and difficult to read, but appear to be arranged in approximately 15 columns from right to left.